研修報告

姫路で人生会議を広めようプロジェクト シリーズ

「第4回 姫路の人生会議」

～もしもの時のために人生会議を始めよう～

2021.7.17 (土) 14:00～16:00

オンラインと会場での開催となりました

第1部 「もう一度 基礎から学ぼう 人生会議」

高橋 正裕 氏 (姫路聖マリア病院)

ポイント

- ・人生会議はできるうちに行っておく
- ・家族など代理意思決定者となりうる人達と繰り返し話し合い共有しておく
- ・選択ではなく選好

第2部 座談会

「様々な職種で、どんな人生会議をしているか 訊いてみよう！」

～気を付けていることや工夫していることを教えてください～

ファシリテーター: 高橋 正裕 氏 (姫路聖マリア病院 医師)

パネリスト: 安藝 奈々枝 氏 (訪問看護ステーション 看護の力 看護師)

新田 佳奈子 氏 (居宅介護支援事業所 介護の窓口 介護支援専門員)

野村 恵子 氏 (兵庫県立姫路循環器病センター 医療ソーシャルワーカー)

「その人らしさって何?」「誰かの人生に関わるプレッシャーや不安感はゼロにはならない?」
など、パネリストの方々だけではなく、参加者の方々からも多数のご意見や質問をいただき、
活発な意見交換の場となりました。みなさまありがとうございました。

8職種、44名の方にご参加いただきました!

参加者の声 (アンケートより抜粋)

- 病状や治療の説明などが主になっていて、人生会議に消極的になっていました。人生会議が当たり前となるような医療風土をつくっていきたいです。
- 正しい情報や知識を持ちながら、自分自身のメンタルも肥やしていきたいです。
- 利用者・家族の揺れ動く気持ちに寄り添って、何度でも人生会議を開く準備をしたいです。
- 選択ではなく選好という言葉に、とても共感しました。そう支援できるよう心掛けたいです。
- とても楽しい時間を過ごすことができました。
- オープンな質問を意識しながら話ができるようになることが自分自身の課題と感じました。
- 人生会議は終末期に始めるのではなく、もっと前から家族などと話し合うものだと感じました。本人や家族などとの対話・雑談の中から、本心や意向を引き出せることに留意して支援していきたいです。

多数のご意見ありがとうございました。